

用意するもの

補修



塗装

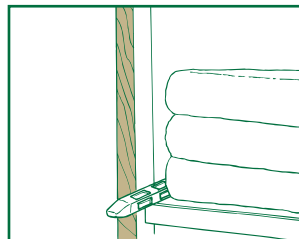


ここがポイント!

梅雨時の湿気対策

● 押入

市販の押入用の細長い湿気取りを左右の隅に入れておきましょう。

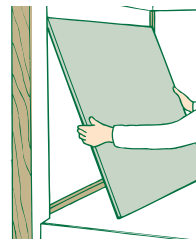


押し入れスノコを敷きましょう。

● シューズボックス

市販の湿気防止剤を入れ、一日履いた靴には新聞紙を丸めて入れ、できたら翌日は履かないようにしたほうが長持ちします。

壁に断熱用の発泡スチロールを貼ると、湿気を防げます。



サービスのご案内



● クレジットもご利用になれます。



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

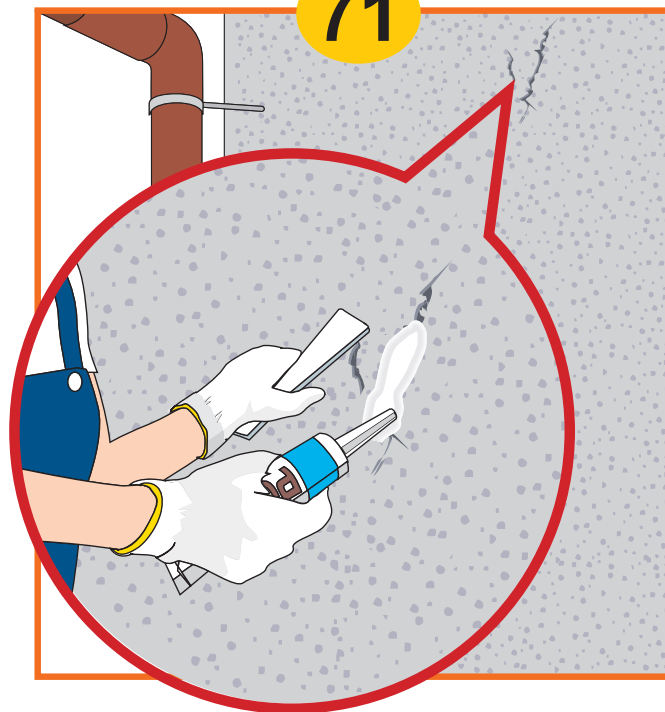
TEL.027-345-1111(大代表)

梅雨と台風から住まいを守る

自分でやってみよう!

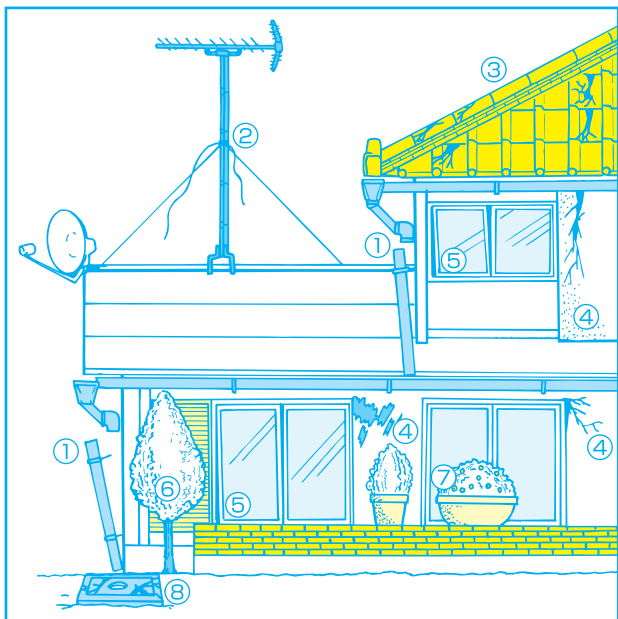
セキチュー How to D.I.Y

71



初夏の梅雨、夏から秋の台風……。両方とも住まいの大敵です。日頃から住まいの点検は大切ですが、この季節の前にも、念を入れて点検する習慣をつけておきましょう。注意したい点と箇所を中心に点検と補修の方法を紹介します。

梅雨や台風から住まいを守るためにやっておきたいこと



- ① 樋
樋受けがはずれていませんか。
(当社発行のハウツーペーパーNo23「雨樋の補修」をご覧ください。)
- ② アンテナ
しっかり固定されていますか。
(当社発行のハウツーペーパーNo94「TV・BS+CSアンテナの取付」をご覧ください。)
- ③ 屋根
瓦がずれていたり、割れていませんか。
(当社発行のハウツーペーパーNo51「屋根瓦、コロニアルの補修」をご覧ください。)
- ④ サイディング、モルタル壁
ペンキがはげていませんか。ヒビ割れしていませんか。
→ **A** へ
(当社発行のハウツーペーパーNo53「屋外外部の塗装」をご覧ください。)
- ⑤ 窓
すき間があいていませんか。
→ **B** へ
- ⑥ 植木
倒れそうなら副え木をつけましょう。
- ⑦ 植木鉢
台風のときは飛ばないように室内や物置に一時避難させましょう。
- ⑧ 排水口
詰まっていますか。フタが割れていませんか。
割れていたなら、交換しましょう。
詰まっている場合は排水パイプクリーナーで詰まりを取り除いておきましょう。

モルタルの補修と塗装

モルタル壁にできたヒビ割れは、小さくても放っておくと雨水がいつの間にかしみこんできて、壁の下地材を腐らせる原因にもなります。ヒビ割れや小さな穴も見つけたらすぐに補修しましょう。

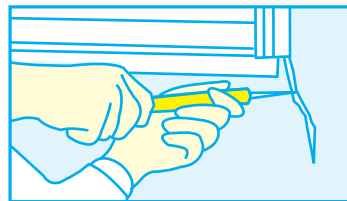
《ヒビ割れの補修》

A 小さなヒビ割れ
幅1mm以下のヒビ割れは、浸透性防水剤をスプレーするか、刷毛でヒビ割れた部分に塗っておけば大丈夫です。液が内部にしみこんで内側から防水します。5~6時間後にもう一度塗っておくとさらに効果が増します。

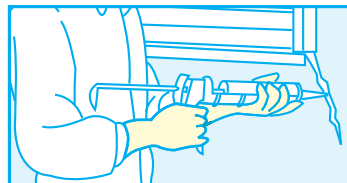
B 大きなヒビ割れ
幅1mm以上のヒビ割れはコーキング剤で充てんしましょう。

《充てんの方法》

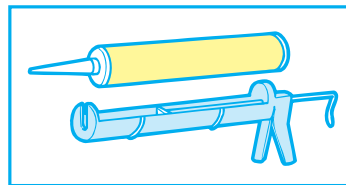
1 まわりをきれいにする
古い歯ブラシやキリ、ドライバー等で汚れやゴミを取り除きます。その後雑巾できれいに拭いて乾燥させます。



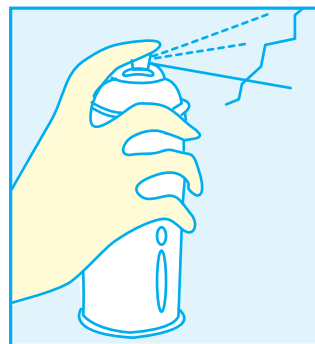
3 充てんする
コーキング剤の先端をヒビ割れに当てて、コーキングガンのレバーを少しずつ握り締めながら、ヒビ割れにそってコーキング剤を注入していきます。(あまり盛り上がりすぎないようにしてください)



2 コーキングガンにセットする
ヒビの幅より少し大きめの幅にコーキング剤の先端が当たるように、コーキング剤の先端をさみかッターで切り、コーキングガンにセットします。



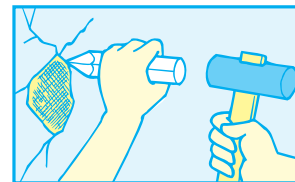
4 ならす
灯油を含ませた布で表面を押さえながら、表面を平らに、そしてヒビが全部埋るようにならしていきます。



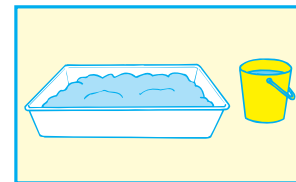
《はがれていたらモルタルを打ちましょう》

面積が狭いので、砂とセメントを混ぜてモルタルを作るよりも、この場合は速乾セメントが便利です。(モルタルの作り方は当社発行のハウツーペーパーNo21「コンクリートの作り方」をご覧ください。)

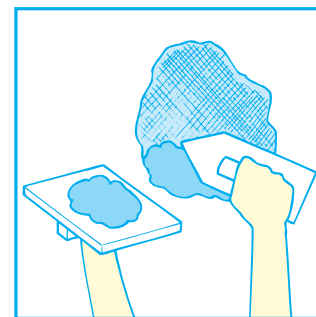
1 タガネで欠き落とす
はがれている部分の周辺をカナヅチで軽くたたき、音でチェックしてください。浮き上がっているようでしたら、タガネを当て、カナヅチで打って欠き落としましょう。



2 速乾セメントを練る
水を少しずつ加えながら、ソフトクリームぐらいの固さになるように練ります。ゆるくなるとくっつきにくく、耐久性もあまりなくなってしまいますので、気をつけてください。



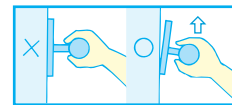
3 下地のラス網も補修する
ラス網がはがれて浮き上がっていたら、ガンタッカーで止めて下さい。そしてモルタルのなじみをよくするために水をかけておきます。



4 中塗りコテで塗る
ラス網の中に詰めこむように塗り、30分ほど経ってから、周囲と同じ高さになるようにモルタルを塗りこめます。

《コテの使い方》

コテは壁にぴったりつけず、進行方向を少し浮かせます。



5 表面を均一に
表面を周囲と同じ高さ上げてください。(ザラザラした面ならほうきでモルタル面をはきつけ、刷毛目をつけるといいでしょう)



《塗装します》

充てん部分が目立つようならローラーバケで外壁用塗料(水性外壁用)を塗ってください。
・コーキング剤を使った場合は、コーキング剤がよく乾いてから塗ってください。
・モルタルを塗った場合は、1ヵ月ぐらい経ってから塗ってください。

